

科目名		サブタイトル	担当教員	配置学年	単位数
交通政策論		国や自治体の交通政策、 交通事業者の施策に学ぶ	武藤 雅威	2年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	規制緩和、上下分離、整備新幹線、モーダルシフト、自動運転		
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力((技術・理論) を有し、関連分野で活躍可能な能力			
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的 (交通・観光関係) な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力 (技術・理論) を身につける			
事前に受講するとよい科目		「交通概論」「鉄道基礎」「鉄道工学」「鉄道数学」「交通英語入門」			
講義の目的	交通政策とは、国や自治体 (都道府県、市区町村) が交通を取り巻く問題解決のためや、より良い方向へ導くために行う取り組み (例えば、交通に関連する法令整備や制度設計) のことです。また、各交通事業者は収益性の向上あるいは事業の継続や、顧客 (旅客) へのサービス向上、社会還元のために様々な施策を行っています。これらの政策・施策は、人口減少や環境問題、先端技術の開発等、時代の社会情勢を反映しながら形成されていきます。本講義では、その過程や創出された効果について学び、交通政策に関する基礎知識を習得することを目的とします。				
到達目標	本講義で取り上げる交通政策・施策が「どのような意味を持つのか、社会にどのような影響を及ぼすのか」を議論できることを目指します。さらに、日頃から交通に関するニュースや記事等に関心を持つようになり、理解を一層深めてほしいと願っています。				
講義内容	講義では、それぞれの交通政策・施策が形成される背景となった社会情勢を踏まえながら、できるだけ最新の情報をもとに、政策・施策の実例をわかりやすく解説します。陸・海・空の各交通分野の中でも、特に鉄道に関する政策・施策を多く取りあげます。学生の皆さんにはただ講義を聴くだけではなく、提示された課題から自らの考えをまとめる時間を与え、レポート作成やプレゼンテーションにつなげていく進め方とします。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	オリエンテーション	進め方と評価方法、交通政策の基本論		
	第2講	LRT、BRT の特徴と役割	なぜ今、LRT、BRT を整備するのか		
	第3講	都市鉄道計画	どのように鉄道新線が計画されるのか		
	第4講	都市鉄道整備支援の政策	利便増進法 (上下分離) の内容等		
	第5講	新幹線に関する政策	新幹線システム開発の歴史と路線網の拡大		
	第6講	リニアの技術開発と将来	リニア地下鉄、常電導・超電導リニア		
	第7講	貨物鉄道を取り巻く政策	鉄道貨物輸送の現状とモーダルシフトの促進		
	第8講	地方公共交通活性化策	持続可能な地方公共交通とするには		
	第9講	環境対策	環境負荷を減らす、鉄道会社の環境報告書を読む		
	第10講	安心・安全対策	ホームドア、地震対策、バリアフリー等		
	第11講	先端技術との融合	自動運転、水素電池電車等、開発の背景		
	第12講	沿線開発まちづくり	鉄道整備と沿線開発を一体的に実施 (東急田園都市線等)		
	第13講	日本の海外支援策	アジア諸国の鉄道整備に対する日本の支援		
	第14講	欧州の交通政策	インターオペラビリティ、上下分離		
第15講	最終回ディスカッション	現状起きている問題について考えよう			
指導方法	初回と最終回を除いて、本日のテーマに関する講義を 50~60 分を行います。その内容に関する課題を提示しますので、考慮時間を設けた後、ディスカッション (発表と質疑応答) もしくはミニレポート作成を行ってまいります。				
事前学習	事前配布される講義用パワーポイント (PDF ファイル) にあらかじめ目を通しておき (1 時間程度) 、どのような内容かを頭に入れて受講すれば、講義内容への理解度がより深まります。				
事後学習	本試験レポートについては、講義中のディスカッションの内容をもとに出題しますので、講義後の記憶が新しいうちに自分の考えをまとめておくこと (1 時間程度) 。				
成績評価方法	本試験 60% (レポート) 、平常点 40% (通常講義時のディスカッションもしくはミニレポート 30%、最終回ディスカッション 10%)				
テキスト	毎回、パワーポイントの PDF ファイルを事前配布する予定				
参考書籍	数字でみる鉄道 2022 (運輸総合研究所発行)				
特記事項	特にありません				